



大館能代空港ターミナルビル株の佐藤さんから話を伺う小笠原リポーター(左)

くの人が空港を利用し、冬の利用率は上げられるのではないかと？
確かに他県のスキー場にお客さんを連れていくのは複雑な気もするが、利用率を上げるためにはしょうがないのではないかと。
去年、所用で福岡に行ったとき、よく言われたのが「かまくらに入ってみたい」、「冬の秋田に行ってみたい」など、自分にとっては意外なことばかり。冬の秋田というか「雪国」や「雪国の風物詩」にあこがれがあるらしい。ふだん触れる機会の少ない「雪」には特別の感情があるのだろう。
今までのキャンペーンは、首都圏でチラシやティッシュを配った

利用者の声

り、旅行代理店を回ったりという形が多いのだが、不特定多数の人にキャンペーンを打つよりも、森吉スキー場の例のように、大学のスキー部に絞ってキャンペーンをするとか、もっと対象を絞り込んだ方が効果的なのではないかと？
また、今までは知らせることを中心にやってきたようだが、福岡の人に「雪国」に対するあこがれがあったように首都圏の人は「雪国」の何に引かれているのかを調べてみることも大事ではないかと？
そうすれば、より効果的な販促が打てるのではないかと？
そこから雪やかまくらの観光における新たな利用法も生まれるのではないかと？

先日、空港に行ったとき、観光パンフレットを探したが、アメック市はもちろん、十和田湖のパンフレットさえも見つけられなかった。あったのはA4サイズで片面だけの「県内スキー場ガイド」というもの。電話でその件を聞いてみたら「観光についてはインフォメーションで聞いて欲しい」、「観光パンフレットはあまりないかもしれない」とのこと。青森空港や秋田空港にも聞いてみたが「無料の観光パンフレットは常備してあ

る」という返事。当然だと思わない方がおかしいと思う。
なぜ、観光客が気軽に持ち帰れる観光パンフレットが置いていないのだろう。なぜ、この様なことが起きるのか？
利用者の声がちんと届いていないのではないかと？
利用率の向上には、利用し



聴衆を魅了した空港ロビーでのホルンコンサート

ている人の声を聞くのが一番大切だと思うのだが。
できるものなら、アンケートボックスの様なものを設置してもらいたい。さらに期間限定でよいが、県外、特に首都圏から来た人には直接会ってアンケートというか、話を聞いてもらいたい。そして良いところ悪いところをチェックして「来て良かった。また、来よう」と思えるようにしてもらい



ナマハゲの出現に泣き出す子も

終わりに

たい。空港だけの問題ではないが、各機関が協力して利用者の声を反映させれば、利用率の向上以上の成果が出せるのではないかと。

先月の十二日に空港のロビーでホルンによるコンサートが行われた。地元の方の多くの人々が楽しんだものと思う。こういった形の空港利用もすばらしいと思う。空港の活用にとどまるのではなく、空港によってもたらされる効果を最大限に活用してほしいのである。注文も多くなってしまうが、多くの方が大いに期待している空港なので、ぜひこたえてもらいたい。そして、すばらしい大館能代空港にしてほしい。